

ニッポン

ドクター和の

臨終圖卷



長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東大第兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著『薬のやめどき』「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

演劇界の至宝ともいいうべき名優、平幹二朗さんも、1年前の10月22日、お風呂で亡くなられました。82歳でした。

この日、一人暮らしの平さんと連絡が取れなかつたことから、近くに住む息子で俳優の平岳さん

が自宅に駆けつけたところ、浴槽で冷たくなっている平さんを発見したそうです。穏やかに、眠るよ

うに亡くなっていたと語っています。この日の東京は、朝晩と昼の寒暖差が急に大きくなつた日でした。

私は、平さんが82歳であつたことに驚きました。背筋はいつでもしゃんとしていて変わらぬスマートな体形、よどみのない台詞回し、独特のハリのあるお声、脇役であつても主役を凌駕するオーラ…。これほど老人らしさを感じさせない80代の俳優さんは、演劇界広しといえども他には見当たらな

いように思います。

平さんは、1956年に俳優座に入団。ハンサムな顔とスケールの大好きな演技で、たちまち花形俳優となり、数々の舞台を残して

います。シェークスピア作品を平さんの出演作で初めて見たという日本人は少なくないでしょう。テレビドラマでも大活躍でした。亡くなつたときも連続ドラマに出演中でしたから、健康状態は良好だったようです。

入浴死という言葉には、悲愴なイメージがありますが、考え方によつてはこれもピンピンコロリであります。しかし、平さんはまだま

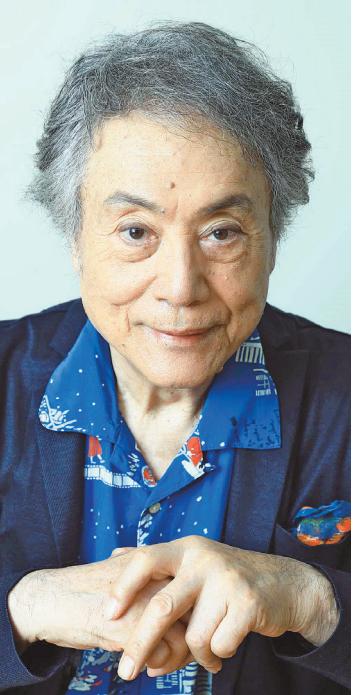
だ素晴らしい仕事ができたはずと思うと、悔しさが募ります。

平さんの死が教えてくれたことを無駄にせず、ご高齢の方はこれから季節、次のことを心掛けてお風呂を楽しんでください。

①外気温が高い時間帯に入浴をする②脱衣所も温かくしておく③シャワーや掛け湯で徐々に体温を温めてから浴槽に入る④飲食、飲酒後すぐの入浴は控える⑤湯温は41度以下で10分以内の入浴を目安に。

朝晩の気温が下がり、秋めいてきましたね。空気が澄んでくる季節が大好きですが、高齢の患者さんのヒートショックが気になります。始める季節でもあります。

寒くなるにつれ、お風呂に入る人が何よりも楽しみという人も多いでしょう。しかし、入浴時の急激な体温上昇によって血圧の変動が大きくなり、脳卒中や心肺停止状態で亡くなる人が年間1万9000人以上いることがわかつています（厚労省調べ）。実際に年間の交通事故故死者数の4倍以上。ひとつではありません。



24 平幹二朗

入浴死が気になる季節

平さんは、2016年に亡くなられた演出家、蜷川幸雄作品においてもなくてはならない存在でした。今も天国でお一人、熱い演劇論を戦わせていることでしょう。